

【環境グループ】

三郷中 宮澤 美風

私は、三郷中学校2年、宮澤美風です。

私は、太陽光パネルについてお尋ねいたします。

私が思う課題は、環境にも設置した家にも利点のある太陽光パネルのことを、市民が十分に理解していないところです。その課題がなぜ起きているかというところ、市民の多くが、太陽光パネルは初期投資が高く、金銭的に厳しいという考えにとらわれているからだと思います。

そこで私は、安曇野市内にある多くの人が集まる場所で、太陽光パネルの利点についてのくわしい情報を使って、市民の興味を引き付けるようなPRをする、という方法を考えました。

その実現のために、私ができることは、家の人や親戚に、調べたり学習したりしたソーラーパネルについての情報を伝えて、よさをPRすることです。

また、市にお願いしたいことは、太陽光パネルを設置する前と後の電気代の変化を、実際に設置した人や電力会社からデータを集め、広く市民に発信していくことだと考えます。発信の方法としては、ホームページにのせたり、動画をつくり、家電量販店などのたくさんの人が集まる場所で流したりすることで、より多くの人の目にとまるのではないのでしょうか。そうすることで、太陽光パネルに対して消極的な考えを持っている人が減り、よりよいイメージを持つ人が増え、市内で太陽光パネルを設置する家庭が増えると思います。太陽光パネルを設置した家庭が増えれば、その分排出される二酸化炭素が減り、安曇野市の環境をよくしていく第一歩になると思います。太陽光パネルは、今問題になっている環境破壊を食い止めることができるだけでなく、設置した家にも多くのメリットがあります。この一石二鳥な太陽光パネルを推進することで、少しずつでも、安曇野市の、美しく整っている環境を守っていけると私は考えます。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 市民生活部

【環境グループ】

穂高東中 醍醐 葵

私は、穂高東中学校2年、醍醐 葵です。

私は、家庭・公共の廃棄物・資源物の分別についてお尋ねします。

自分が課題だと思う点は、廃棄物・資源物の分別の呼びかけです。今、市の利用している方法は主に、ゴミの分別表付属のゴミの日カレンダーと、資源物・ゴミの出し方の手引きの配布です。分別方法を調べる術はいくらでもあるのに、なぜ、まだまだ分別できるものがゴミとして出されてしまうのか。その要因は次のようなことではないでしょうか。「捨てるごみごとにチェックしなければいけないこと」「また、いつでもそばに分別表がある訳ではないため、チェックしに行くのが面倒なこと」「細かい文字を読むのが大変なこと」などがあると思います。

そこで私は、分別表を改良するという方法を考えました。「ゴミ箱に貼れる分別表」という案です。ただし、今まで同様に文字を書くのではなく、可燃、不燃ゴミで分け、ゴミの曜日と、捨ててしまいやすい資源物を絵で示します。

けれど、ゴミ箱は各々で形、大きさが異なると思うので、B5ほどの大きさでそばの壁などにも付けられるよう水に強い紙や、裏面にはがしやすい両面テープを使用し、定期的に配付すると良いと思います。また、捨てられなかった資源物の処理場所をスーパーなどで調べられるよう、スーパーの回収ボックスの近くにも大きなポスターで示すと良いと思います。

その実現のため私ができることは、生徒会の一員として、可燃・不燃の二つのゴミ箱を設置するというような案を出し、働きかけることです。また市がすべき方法は、分別表の改良と全市民への配付を可能にすることです。

そうすることで分別が進み、資源が増え、ゴミ減少で二酸化炭素排出量も減り、不法投棄も減り、環境保護につながると思います。

総括して申し上げますと、分別表を改良することで環境保護につなげ、今よりさらに美しい安曇野市にしていこうということです。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 市民生活部

【環境グループ】

穂高東中 荒井 葵

私は、穂高東中学校2年、荒井 葵です。

私は、安曇野の水の安全性のPRについてお尋ねします。

私が課題だと考える事は、PR方法についてです。私は、東京都から引っ越してきたのですが、その時「安曇野の水道水のおいしさ」に驚きました。また、市の環境課の方から安曇野の水は、「おいしく」「安全性が高い」とうかがいました。

ところが、安曇野市がPRしている物は、ペットボトルの長持ちする水です。この方法では、この水は県外に行ってしまう、市民へのPRにはなりません。それに加え、私たちはペットボトルの水を買わなくても、家の水道でおいしい水が飲めるため、ペットボトルの水を買う人は他県の人と比べると少ないように思います。それに私は、安曇野市民自身が、安曇野の水の「おいしさ」「安全性」を知ることが一番大切だと思います。

そこで、私はPRの方法を変えることを考えました。まず、水にかかわるイベントを行う事を提案します。そのイベントでは、水に含まれている薬品が及ぼす影響を知ってもらい、安曇野の水の安全性を伝え、加えて災害に備えた長期保存が可能な水の紹介を行うのはどうでしょうか。

その実現のために私が出来ることは、生徒会の一員として、イベントのPRを行う事です。市には、PR方法の改善、特に安曇野の水が一番身近な市民にも、安曇野の水について知ってもらう機会をつくって欲しいと思います。そうすることで、安曇野の水に対する市民の意識が高まり、安曇野の豊かな水を守ることができると思います。

以上のように私は、安曇野の水のPRの改善をし、水にかかるイベントを開催し、後世に安曇野の地下水を残していきたいと考えます。「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 上下水道部